



高齢犬は体調が急変しやすいため、常に見守っていなければいけません。預け入れ時には元気でも、預かり中に環境の変化や寂しさから突然体調が悪化することもあります。夜間スタッフが不在となります。もし夜間に不測の事態が起こっても対処が遅れてしまいます。

また高齢犬は体が弱っている子も多く、いつもと違う食事や他の子の泣き声といった環境の変化がきっかけで、大きな病気とまではいかずとも、食が進まない、毛が抜けてしまう、元気が出ないといった症状につながりかねません。預かっている他の子達と同じように過ごすことが難しいこと、リスクをご承知の上ご理解ご協力をお願いします。